

村田町立村田第二中学校(むらたっ子応援団事業)「むらた庭木剪定講習会」

○市町名 村田町

○学校名 村田町立村田第二中学校

○期 日 令和4年9月28日(水)から
令和4年9月29日(木)まで

○内 容

【学校】総合的な学習の時間「地域協働学習」

- ・地域と連携した学習活動をとおして、地域の一員であるという自覚を高める。
- ・地域の人々と触れ合うこととおして、生き方や社会における役割を理解させる。

【地域住民】「むらた庭木剪定講習会」

- ・実技をとおして庭木剪定の基礎知識や技術を学ぶ。(参加者10名)

【行政】「むらたっ子応援団事業」

- ・趣味やボランティア活動などに生かせる庭木の剪定技術を、実技をとおして仲間とともに楽しく学ぶ機会を設定する。

○講 師

太田造園 太田善雄 氏



○生徒の声

・今回の庭木剪定講習会は、3年目ということもあり自分から行動することができました。暑い中、庭木を剪定してくださっていた方から豆知識を教えてもらうことができました。毎日、何気なく見ていた松の木が1年でどれくらい葉をのばしていたのか、手入れしてくださる方々の大変さを改めて実感しました。また、仲間と協力する楽しさや大切さを改めて実感することができました。今回学ぶことができたこと、反省点をしっかり復習して今後の生活に生かしていきたいです。



・3年生は今回の庭木剪定が3回目だったので、去年よりもスムーズに片付けたり、運んだりすることができたと思います。私は、小さい熊手を使って落ちた庭木などを拾っていたのですが、細い隙間に挟まっている松の葉など、小さな熊手でしかできないところをしっかりと探して取ることができたので良かったです。学校の庭木がいつもきれいに整っているのは、何もしなくて整っているのではなく、今回のように庭木剪定を行ったり、きれいに整えていただいたりする人がいるからこそなのだなあと改めて思いました。

- ・今年で3回目の庭木剪定でしたが、1年生と2年生のときのことを思い出しながら、より効率的に作業ができるよう、工夫して取り組むことができました。落ちてきた枝や葉を集めるだけでもこれだけ大変なのに、切る作業も合わせるとなると、より大変な作業になるということを改めて感じ、校庭がきれいに保たれていることにも感謝しなければならないなと思いました。



- ・今回の庭木剪定講習会で、私は校舎に入るまでの道のりにある木がきれいなのは、毎年たくさんの方が木を剪定して下さっているおかげなんだと改めて感じる事ができました。私たちが今こうして元気で過ごせていることも、たくさんの方が関わってくれているからなのだと考えると、「協力する」「周りの人へ感謝」という当たり前を感じてしまう言葉でも、その重みを感じる事ができました。



○講師から

毎年恒例の事業となっていますが、今回も多くの方に参加してもらうことができました。今後、趣味やボランティア活動などに活かしてもらえれば幸いです。中学生によるお手伝いも大変ありがたく、地域の方々との交流もできよかったと思っています。

○講座参加者から

技術的な指導をいただきながら、2日間楽しく作業をさせていただきました。中学生との交流も、普段はなかなかできないことなので、一緒に活動することができてよかったです。また来年も参加したいと考えています。

○教職員の声

今年度も校地内の庭木剪定をしていただきたいへん感謝しています。毎日、生徒たちが登校時に眺める校木の「あかまつ」が、よりすっきりしてきれいになりました。

村田二中では、これまでも紅花栽培や稲刈り等「むらたっ子応援団」の支援を受け、体験活動を行ってきました。今回の庭木剪定講習会の活動においても、生徒たちは自分の役割を意識するとともに、地域の方々に感謝する気持ちが育ってきていると感じました。これからも生徒たちのよりよい成長のために連携していきたいと思えます。

○教育事務所から

学校という場を生かし、住民の学びの機会の創出と生徒の地域住民との交流が見事に融



合した事業でした。軽トラックいっぱいに積まれた枝葉から、協働の力強さや成果が感じられました。多世代交流がさらに広がり、地域と学校がより緊密に連携し、主体的に地域社会に働きかける生徒が育つことを期待します。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)